JapanKnowledge

サービスの概要

数々の事典、用語集や叢書、データ、ビジネス情報源など、50種以上ものコンテンツを一度に検索できるデータベース。コンテンツは定期的に更新され、常に最新の知識が閲覧できます。
調べた言葉に関する関連サイトもリンクされており、幅広い検索が可能です。

【アクセス方法】

芸術文化情報センターのホームページ ＞
データベース Data Base ＞
データベース一覧＞『ジャパンナレッジ』
からアクセスしてください。
※学内からのみアクセス可能です

検索方法(基本検索)

基本検索では入力されたキーワードから、複数のコンテンツを横断して検索します。

❶ 「見出し」で検索すると、見出しに指定キーワードが含まれるものが、
「全文」で検索すると、本文中に指定キーワードが含まれるものが全てヒットします。

❷ コンテンツ名をクリックするとその選んだコンテンツで、検索結果からの絞込みが可能です。
※クリックした際に表示される「✔(チェックマーク)」は再度クリックすると外れます。

❸ 検索結果の右端に各項目が収録されているコンテンツ名が表示されています。

❹ 終了する際は、必ず「**ログアウト**」をクリックしてください。

検索方法(詳細(個別)検索)

検索結果を絞り込みたい場合は、詳細検索画面で検索範囲やキーワードを予め設定しておくと、効率よく情報を得ることができます。

❶ 「基本検索」と「詳細(個別)検索」の画面表示を切り替えることができます。

❷ 検索範囲を「全文」とすると、見出し・項目名に限定せず、本文中に指定キーワードが含まれるものが全てヒットします。キーワードは黄色のハイライトで表示されます。
※「見出し」で検索した際に情報が少ない場合は、「全文」を選択して検索を試してみましょう。

❸ クリックすると、プルダウンメニューが開き、各コンテンツ別の詳細検索へ移動します。指定したコンテンツのみでの検索が可能です。

【詳細(個別)検索】

詳細検索のコンテンツメニューは、上部タブの［詳細（個別）検索］からも表示できます。あらかじめ調べたいコンテンツが決まっているときはこちらから利用してください。

※「**日本古典文学全集**」ではタイトルだけでなく、本文、現代語訳、頭注から検索ができ、時代・ジャンルなどで絞り込みも可能です。他にも国内の上場企業を検索できる「**会社四季報**」など、様々なコンテンツがあります。用途に合わせて活用しましょう。

各項目の見方

検索結果一覧から、各項目を閲覧してみましょう。百科事典・国語辞典など様々な事典・辞書からヒットします。 検索結果から各々の項目を確認し、内容を比較してみてください。

❶ 検索結果一覧から閲覧したい項目名をクリックすると、その項目の本文が表示されます。

❷ **関連項目：**この項目に関連する別の項目があれば表示されます。クリックするとそのページに移動します。

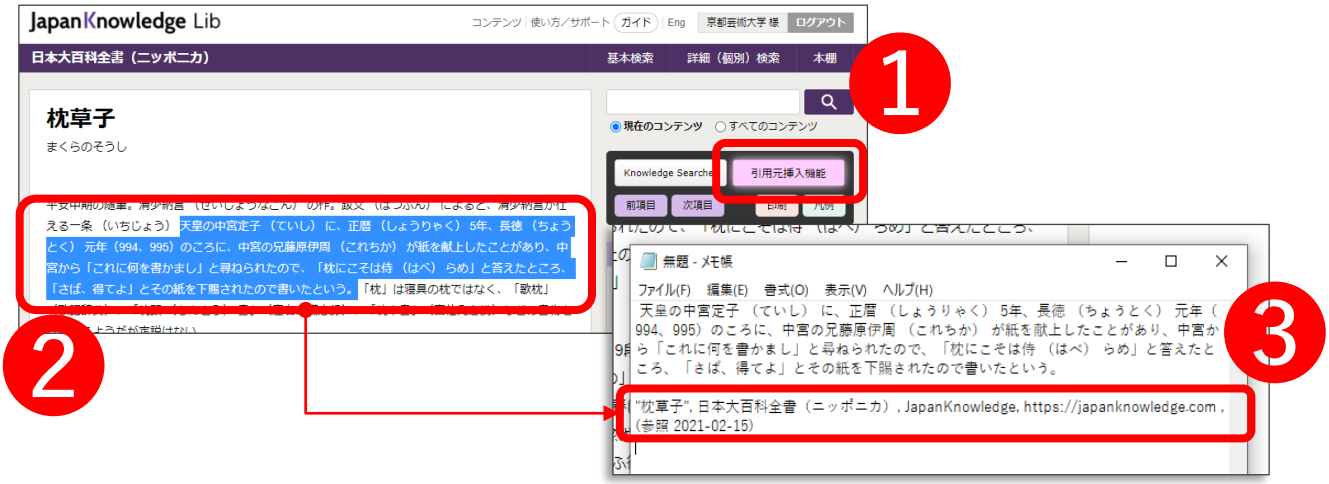
❸ **参考文献：**この項目の参考文献がある場合、その資料名や著者等の情報が表示されます。さらに詳しく知りたい場合は、表示されている参考文献情報を参照しましょう。

❹ **ドロワータイプメニュー：**前後の項目への移動や印刷などのメニューが利用できます。右端の「◀」を押すと格納することができます。

便利な機能について

【引用元挿入機能】

ジャパンナレッジにはコピー＆ペーストした本文テキストにその引用元を自動的に追加できる機能があります。レポート作成時に是非活用してください。
※コピーした文が19文字以下の場合は機能しません。



❶ 「引用元挿入機能」をクリック。※ON/OFFはクリックで切り替えられます。

❷ 引用したいテキストをコピーします。

❸ コピーしたテキストをメモ帳やwordなど、任意のワープロソフトにペースト(貼り付け)すると、引用元の情報が自動的に挿入されます。

【Knowledge Searcher（ナレッジサーチャー）】

本文内でドラッグした文字列を検索できる機能です。本文内にさらに調べたいキーワードがあった場合などに活用できます。※検索できる文字数の上限は40文字です。

❹「Knowledge Searcher」をクリック。
※ON/OFFはクリックで
切り替えられます。

❺本文中で検索したいキーワードが出てきたら、マウスでなぞって選択しましょう。(文字色が反転します)
選択すると、ナレッジサーチャーのウィンドウが開き、検索結果が表示されます。